

A 会場

火山防災と教育
座長：中村洋一

- 10:00-10:15
A1-01 日本の活火山の噴火過去 2000 年間履歴の時空解析
(その 2) ※中村洋一・伊藤悠太郎
- 10:15-10:30
A1-02 アジア太平洋地域大規模地震・火山噴火リスク対策
(G-EVER) プロジェクトと次世代型リアルタイム火
山災害予測システム ※宝田晋治
- 10:30-10:45
A1-03 第 5 回ユネスコ国際ジオパーク会議と日本火山学会
の役割 ※中田節也
- 10:45-11:00
A1-04 歯科用印象材と紙粘土を使った雲仙火山平成新山の
アナログ実験教材 ※林信太郎

11:00-11:15 休憩

浅間火山 1

座長：青木陽介・風早竜之介

- 11:15-11:30
A1-05 2011 年 11 月～12 月に発生した浅間山 N 型地震の震
源と周波数構造の特徴 ※武尾 実・鎌田林太郎
四方義啓
- 11:30-11:45
A1-06 地震および地震変動観測から求められた浅間山にお
けるマグマ供給経路 ※青木陽介・武尾 実
大湊隆雄・長岡 優・西田 究
- 11:45-12:00
A1-07 Computational modelling of seismic anisotropy due to
stress in the crust at Mount Asama
※ Adrian Shelley・Martha Savage・Charles Williams
Yosuke Aoki・Boris Gurevich・Olivia Collet
- 12:00-12:15
A1-08 2009 年 2 月 2 日浅間山噴火発生時の傾斜変化から推
定した収縮源 ※舟崎 淳・高木朗充・藤松 淳
- 12:15-12:30
A1-09 浅間山における火山ガス組成変化 ※篠原宏志
大湊隆雄・武尾 実
- 12:30-12:45
A1-10 浅間火山における二酸化硫黄放出率の自動観測
※森 俊哉・森田雅明・武尾 実
卜部 卓・及川 純
- 12:45-13:00

B 会場

火山活動
座長：菅野智之

- 10:00-10:15
B1-01 1888 年磐梯山水蒸気爆発 (5) 先行地震活動と爆発
のメカニズム ※浜口博之・中道治久
- 10:15-10:30
B1-02 伊豆大島火山の中期噴火予測へ向けて (5)：深部低
周波地震，山体膨張，地中 CO₂ 濃度の関連からみた
噴火準備過程 ※渡辺秀文
- 10:30-10:45
B1-03 硫黄島の最近の火山活動 ※菅野智之・鈴木一蔵
稲葉俊英・相川達朗・小野幸治・藤原健治
平山康夫・渡邊幸弘
- 10:45-11:00
B1-04 ニアムラギラ火山の最近の噴火活動 ※笠原 稔
Kasereka Mahinda・Wafula Mifundo

11:00-11:15 休憩

火山の時空間分布

座長：長谷川健・西来邦章

- 11:15-11:30
B1-05 長期火山活動及びその影響評価に資するデータベ
ースの構築：数値地質図「第四紀火山岩・貫入岩体デ
ータベース」 ※西来邦章・伊藤順一・宮城磯治
上野龍之・中野 俊
- 11:30-11:45
B1-06 岩手火山、一本木原岩屑なだれ堆積物のウイグル
マッチング年代 ※伊藤順一
- 11:45-12:00
B1-07 榛名二ツ岳，伊香保テフラ (Hr-FP) の SHCal04 を
適用した ¹⁴C ウイグルマッチング年代 ※奥野 充
八塚慎也・及川輝樹・下司信夫
星野安治・中村俊夫
- 12:00-12:15
B1-08 史料による有珠山文政噴火 (1822) の推移の再構築
※津久井雅志
- 12:15-12:30
B1-09 古地磁気測定により推定される 2 種類の御鉢平火碎
流の休止期間と噴出順序 ※安田裕紀・佐藤鋭一
和田恵治・鈴木桂子
- 12:30-12:45
B1-10 東北日本弧南部，高原火山における山体形成史とマ
グマ供給系の発達 ※弦巻賢介

A1-11 地震・火山ガス研究による浅間山 2009 年噴火前後の
脱ガス機構変動 ※風早竜之介・篠原宏志
風早康平・大和田道子・森 俊哉・武尾 実
大湊隆雄・市原美恵・前田裕太・宮下 誠

12:45-13:00
B1-11 北海道東部, アトサヌプリ火山の爆発的噴火史の再
検討 ※長谷川健・中川光弘・宮城磯治

10月14日(日) 午後

A 会場

浅間火山 2

座長: 長井雅史・安井真也

14:00-14:15

A1-12 防災科学技術研究所が掘削した岩石コア試料に記録
された浅間火山の火山活動史 ※長井雅史
戸田よしえ・森 翔平・高橋正樹・中田節也
外西奈津美・安井真也・金丸龍夫・小園誠史
鶴川元雄・金子隆之・武尾 実

14:15-14:30

A1-13 浅間黒斑火山とはどのような火山か ※高橋正樹

14:30-14:45

A1-14 浅間黒斑火山牙グループ溶岩・火砕岩の古地磁気方
位からみた噴火間隔 ※小川貴好・金丸龍夫
高橋正樹・安井真也

14:45-15:00

A1-15 浅間仏岩火山仏岩下部流紋岩質溶岩角礫岩レンズの
岩石組織と成因 ※矢島 徹・高橋正樹・安井真也

15:00-15:15

A1-16 謎の多い浅間前掛火山の天明噴火 ※安井真也

15:15-15:30 休憩

火山の電磁気学

座長: 松島喜雄

15:30-15:45

A1-17 伊豆大島火山における自然電位連続測定
※松島喜雄・西 祐司・鬼澤真也・高倉伸一
長谷英彰・石戸経士

15:45-16:00

A1-18 三宅島 2000 年噴火前後の自然電位分布変化について
※上嶋 誠・長谷英彰・相澤広記
山谷祐介・小山崇夫・西田泰典

16:00-16:15

A1-19 ACTIVE 観測による阿蘇火山中岳周辺の浅部比抵抗
の時間変化 ※徳本直明・宇津木充・鍵山恒臣
井上寛之・小森省吾・浅野 剛・小山崇夫

16:15-16:30

A1-20 電気伝導度構造を用いた揮発性物質フラックス推定
の試み~手法の改良と火山地域への適用

B 会場

霧島火山 1

座長: 相澤広記・鈴木雄治郎

14:00-14:15

B1-12 広帯域 MT 探査による霧島火山群の 3 次元比抵抗構
造 ※相澤広記・小山崇夫・上嶋 誠・長谷英彰
山谷祐介・橋本武志・神田 径・小川康雄
宇津木充・吉村令慧・山崎健一

14:15-14:30

B1-13 霧島山新燃岳噴火に伴う火山灰輸送の数値実験(そ
の 3) ※橋本明弘・新堀敏基・福井敬一

14:30-14:45

B1-14 霧島山新燃岳 2011 年噴火の 3 次元噴煙シミュレー
ション ※鈴木雄治郎・小屋口剛博

14:45-15:00

B1-15 霧島山 2011 年噴火前のマグマ蓄積の開始時に何が
あったのか ※中尾 茂・森田裕一・後藤和彦
八木原寛・平野舟一郎・及川 純・上田英樹
小園誠史・平田安廣・高橋浩晃・一柳昌義
太田雄策・松島 健・井口正人

15:00-15:15

B1-16 霧島新燃岳における火口底への溶岩蓄積時の火山性
微動周波数構造解析 ※鎌田林太郎・武尾 実

15:15-15:30 休憩

霧島火山 2

座長: 小園誠史・鈴木由希

15:30-15:45

B1-17 発震機構解から推定した霧島火山周辺域の応力場
※松本 聡・八木原寛・松島 健
山下裕亮・清水 洋

15:45-16:00

B1-18 地震計アレイによる新燃岳に発生した微動の短期間
時空間特性 (3) ※中元真美・松本 聡・山中佳子
清水 洋・中道治久

16:00-16:15

B1-19 傾斜変動データと SAR 衛星画像に基づく 2011 年霧
島山新燃岳噴火におけるマグマ噴出過程の把握
※小園誠史・上田英樹・小澤 拓・小屋口剛博

※小森省吾・鍵山恒臣・Jerry Fairley

藤田英輔・東宮昭彦・鈴木雄治郎

16:15-16:30

B1-20 TerraSAR-X/DInSAR によって検出された、新燃岳火口内溶岩表面の変動 ※宮城洋介・小澤 拓
島田政信

16:30-16:45

B1-21 新燃岳 2011 年噴火噴出物中にみられるナノライトの晶出過程 ※無盡真弓・中村美千彦・奥村 聡

16:45-17:00

B1-22 霧島山新燃岳 2011 年噴火における深部マグマ供給と浅部マグマ再移動—斑晶メルト包有物と相平衡実験からの制約— ※鈴木由希・安田 敦・外西奈津美
金子隆之・中田節也・藤井敏嗣

10 月 15 日 (月) 午前

A 会場

桜島火山 1

座長：三輪学央・大石雅之

9:15-9:30

A2-01 桜島大正噴火軽石に含まれる磁硫鉄鉱の脱硫化反応：マグマの酸化速度計の開発にむけて
※松本恵子・中村美千彦

9:30-9:45

A2-02 桜島南岳降下火山灰中の塩素濃度の変化
※佐藤 泉・野上健治

9:45-10:00

A2-03 2011～12年の連続サンプリングによって発見された桜島昭和火口噴出物の岩石学的サイクル
※榊原正幸・上ノ園亮平・高倉清香

10:00-10:15

A2-04 桜島における噴火形態による火山灰放出量について
※田島靖久・井口正人・久保田亮・高橋英一

10:15-10:30

A2-05 CCD カメラ画像とクラスター分析を用いた桜島火山灰の分類 ※三輪学央・嶋野岳人・西村太志

10:30-10:45

A2-06 桜島火山におけるリアルタイム降灰調査の概要
※大石雅之・西来邦章・下司信夫・古川竜太
石塚吉浩・及川輝樹・廣田明成
田中明子・三輪学央

10:45-11:00

A2-07 爆発的噴火に伴って飛散する火山岩塊の到達距離と空振振幅の関係 ※高木朗充・宇都宮真吾
中橋正樹・飯島 聖・長谷川嘉彦・山本哲也

B 会場

地震と火山

座長：山本 希・藤田英輔

9:15-9:30

B2-01 発生時期の離れた相似深部低周波地震 ※山本 希
9:30-9:45

B2-02 2011年東北地方太平洋沖地震 M9.0 後の東北地方の火山活動—岩手・秋田駒ヶ岳火山、吾妻火山の地震活動を例として— ※植木貞人・平原 聡
中山貴史・出町知嗣・河野俊夫・立花憲司
堀修一郎・趙 大鶴

9:45-10:00

B2-03 東北地方太平洋沖地震による富士山影響評価
※藤田英輔・小園誠史・小澤 拓・上田英樹
河野裕希・吉岡祥一・戸田則夫
菊池愛子・井田喜明

10:00-10:15

B2-04 2008年と2011年の地震性強震動により誘発された花山カルデラ地塊ブロック移動の発生メカニズムについて—山体崩壊発生メカニズム理解へのヒントを探る— ※村上 亮・奥山 哲・古屋正人
阿部隆博

10:15-10:30

B2-05 Seismic anisotropy, stress and cracks on active volcanoes
※ M Savage・Y Aoki
Ruapehu Rumbles group

10:30-10:45

B2-06 レシーバ関数解析によって明らかにした九州地方の最上部マントルにおける流体の存在 ※安部祐希
大倉敬宏・平原和朗・澁谷拓郎

10:45-11:00

B2-07 回転多層ミュオン飛跡検出器による画像から得ら

11:00-11:15 休憩

桜島火山 2

座長：西村太志・山本圭吾

11:15-11:30

A2-08 ブルカノ式噴火に伴う地震の規模と発生間隔—桜島, 諏訪之瀬島, スメル山の比較— ※西村太志
井口正人・Muhamad Hendrasto

11:30-11:45

A2-09 マグマ供給系の流体動力学モデリングによる噴火前のマグマの移動と蓄積 ※巴波壮馬・井口正人
三ヶ田均・後藤忠徳・武川順一

11:45-12:00

A2-10 2009 年以降の桜島・始良カルデラ周辺の地盤変動 ※井口正人・太田雄策・中尾 茂・園田忠臣
高山鐵朗・市川信夫

12:00-12:15

A2-11 干渉 SAR による桜島および口永良部島火山の地盤変動 ※山本圭吾

12:15-12:30

A2-12 桜島火山における発破波形の後続相変化の空間分布 ※筒井智樹・井口正人・為栗 健・大島弘光
青山 裕・植木真人・山本 希・野上健治
大湊隆雄・及川 純・市原美恵・武尾 実
中道治久・大倉敬宏・清水 洋・松島 健
宮町宏樹・八木原寛・上田義治
斎藤公一滝・菅井 明

12:30-12:45

A2-13 ACROSS を用いた桜島における能動監視 ※宮町宏樹・八木原寛・山岡耕春・渡辺俊樹
國友孝洋・井口正人・為栗 健・三ヶ田均
清水洋・松島 健・竹中博士

れた有珠火山明治新山 (1910 年) の内部構造

田中宏幸・※草茅太郎・横山 泉

11:00-11:15 休憩

火山の岩石学 1

座長：大場 司・永尾隆志

11:15-11:30

B2-08 新富士火山最近 3000 年間の噴火様式とマグマ含水量の関係

※佐藤博明・御堂丸直樹・藤田奈穂
鈴木桂子・石橋秀巳

11:30-11:45

B2-09 高温高圧実験から推定する富士火山深部マグマ溜りの条件 ※浅野健太・高橋栄一・浜田盛久
潮田雅司・鈴木敏弘

11:45-12:00

B2-10 富士火山深部マグマ供給系と火山活動の時間発展 ※高橋栄一・浅野健太・中島淳一

12:00-12:15

B2-11 マグマ混合に誘導された斑晶の結晶作用—西島海火山の例 ※大場 司・及川 玄・林信太郎
伴 雅雄

12:15-12:30

B2-12 火山噴出物の平均鉱物組成分布 ※佐々木実

12:30-12:45

B2-13 島根県邑智郡川本町に分布するミネット II 岩石学および地球化学的特徴 ※永尾隆志・小井戸一浩
永嶋真理子・角縁 進・木村純一・藤林紀枝

10 月 15 日 (月) 午後

臨時総会 (A 会場) 15:45-16:15

A 会場

日本火山学会 研究奨励賞・記念講演
座長：高田 亮

16:15-16:30

S01 「結晶作用がマグマの粘性率に及ぼす影響」

※石橋秀巳

A 会場

火山の岩石学 2

座長：石塚 治・羽生 毅

- 9:15-9:30
A3-01 北海道東部 雌阿寒岳の最新のマグマ：ボンマチネ
シリ降下スコリアの岩石学的検討 ※大谷猛亮
吉本充宏・中川光弘
- 9:30-9:45
A3-02 大分県両子火山群，苦鉄質マグマの貫入による珪長
質マグマの再流動 ※堀川義之・永尾隆志
- 9:45-10:00
A3-03 伊豆半島東部地域の火成活動の時空変遷
※石塚 治・及川輝樹
- 10:00-10:15
A3-04 四国海盆玄武岩の化学的特徴と現伊豆小笠原弧、九
州パラオ海嶺火山岩との比較 ※原口 悟
石井輝秋・町田嗣樹
- 10:15-10:30
A3-05 ハワイ火山初期ステージのマグマ源 ※羽生 毅
木村純一・交久瀬磨衣子・A.T. Calvert
T.W. Sisson・中井俊一
- 10:30-10:45
A3-06 斜長石の水素含有量を用いるマグマ水量計の確立
—メルト包有物分析と含水融解実験からのアプロ
ーチ— ※浜田盛久・潮田雅司・藤井敏嗣・高橋栄一
- 10:45-11:00
A3-07 東北日本弧の第四紀マグマの H₂O/K₂O 比の水平変
化 ※宮城磯治
- 11:00-11:15
A3-08 スラブ流体が塩水だとすると、それがどうした？
※川本竜彦

11:15-11:30 休憩

火山の素過程

座長：奥村 聡・前野 深

- 11:30-11:45
A3-09 表面張力によるメルトフォーム組織緩和と粘性・比
表面積・珪晶量の効果 ※大槻静香・中村美千彦
- 11:45-12:00
A3-10 発泡したマグマの剪断破壊と摩擦滑りに関する実験
的研究 ※奥村 聡
- 12:00-12:15
A3-11 火山噴煙の渦構造と噴煙噴出速度の関係
※諏訪博之・鈴木雄治郎・横尾亮彦

B 会場

モニタリング手法の開発

座長：小澤 拓・横尾亮彦

- 9:15-9:30
B3-01 弾性体内部の変位とボアホール型傾斜計による傾斜
変動量 (第2報) ※坂井孝行
- 9:30-9:45
B3-02 PALSAR/InSAR により検出されたコルドン・カウジュ
火山群 (チリ) 周辺の地殻変動 ※小澤 拓
藤田英輔・宮城洋介・小園誠史
- 9:45-10:00
B3-03 火山計測のための重力鉛直勾配計の開発
※潮見幸江・黒田和明・鍵山恒臣
ヤン・ソフヤン・吉川 慎
- 10:00-10:15
B3-04 単写真計測システムを用いた火山活動モニタリング
※佐々木寿・荒井健一・藤巻重則
- 10:15-10:30
B3-05 相似地震の波形を利用した基盤的火山観測網による
火山活動モニタリング技術の開発 ※河野裕希
上田英樹・木村尚紀・長井雅史・宮城洋介
藤田英輔・小園誠史・棚田俊成
- 10:30-10:45
B3-06 防災科学技術研究所の基盤的火山観測網による火山
性地震の精密な震源と発震機構解の決定
※上田英樹・河野裕希・長井雅史・宮城洋介
藤田英輔・小園誠史・棚田俊成
- 10:45-11:00
B3-07 阿蘇における地震・空振相関解析 ※横尾亮彦
市原美恵
- 11:00-11:15
B3-08 音速法によるカメルーン火口湖の CO₂ 濃度測定
※実政光久・佐伯和人・金子克哉・大場 武
日下部実・G. Tanyileke・J.V. Hell

11:15-11:30 休憩

噴火プロセス

座長：宮縁育夫・嶋野岳人

- 11:30-11:45
B3-09 古地磁気方位からみた阿蘇火山中央火口丘群西北部
の活動 ※宮縁育夫・望月伸竜・弥頭隆典
久保田恭平・渋谷秀敏
- 11:45-12:00
B3-10 北海道駒ヶ岳 e テフラ (Ko-e) の給源火山：B-Tm

12:15-12:30
A3-12 斜面での粉体柱の崩壊現象について ※前野 深
A.J. Hogg · R.S.J. Sparks · G.P. Matson

12:30-12:45
A3-13 地殻溶融による生成するマグマの量, 組成, 時間スケール 地殻初期温度, 高温マグマの貫入率および含水量の影響 ※金子克哉

下位の白頭山起源テフラの発見 ※中川光弘
高橋 良 · 宮本 毅

12:00-12:15
B3-11 富士火山奥庭割れ目噴火火口列の再検討
※入佐穂高 · 宮地直道 · 高橋正樹

12:15-12:30
B3-12 西南日本, 島根半島坂浦における火山弾の海底噴火プロセス ※鹿野和彦

12:30-12:45
B3-13 諏訪之瀬島火山 1813 年噴火の前駆的灰噴火について
※嶋野岳人 · 下司信夫

12:45-13:00
B3-14 小笠原硫黄島に産出する溶結した水中火砕流堆積物
※小林哲夫 · 長井雅史

ポスターセッション

ポスター掲示: 10月14日 9:00 ~ 15日 17:00

コアタイム: 10月15日 奇数番号 14:00 ~ 14:45 偶数番号 15:00 ~ 15:45

P01 富士火山周辺の地震波速度トモグラフィー
中島淳一 · ※高橋栄一

P02 伊豆大島火山のひずみ変化 ※小久保一哉
鬼澤真也 · 高木朗充 · 山本哲也

P03 伊豆大島の地殻変動上下成分にみられる特徴についての予察 ※山本哲也 · 鬼澤真也 · 高木朗充

P04 GPS 観測で捉えられた吾妻山の地殻変動
※吉田友香 · 舟越 実 · 西田 誠 · 近江克也
高木朗充 · 安藤 忍

P05 リアルタイム GPS 観測による火山活動モニタリング
—フィリピン・タールおよびマヨン火山—
※大倉敬宏 · 木股文昭 · Ma. A. Bornas
A. Aguilar · B. Luis

P06 フィリピン・タール火山の浅部 LP イベントから示唆されるマグマからのガス上昇とクラック振動
※前田裕太 · 熊谷博之 · Rudy Lacson
Melquiades S. Figueroa II · 山品匡史

P07 諏訪之瀬島の爆発地震の初動付近に見られる収縮
フェイズの解析 ※平井雄一 · 西村太志 · 井口正人
為栗 健 · 及川 純 · 八木原寛
中道治久 · 青山 裕

P08 カムチャッカ・クリチェフスカヤ火山における高サン
プリング傾斜変動観測 ※松島 健 · 高橋浩晃
青山 裕 · 中川光宏 · 宮町宏樹 · 後藤章夫
Serovetnikov Sergey · Muravyev Yaroslav
Gordeev Evgeny

P09 カルデラ直下・地殻中深部の低比抵抗異常—支笏カル
デラ・屈斜路カルデラの例— ※山谷祐介
本多 亮 · 茂木 透 · 長谷英彰 · 市原 寛
橋本武志 · 上嶋 誠

P10 広帯域 MT 探査による富士山の比抵抗構造: 2次元
解析と3次元解析の違いと問題点 相澤広記
※上嶋 誠 · 山谷祐介 · 長谷英彰

P11 2008年岩手・宮城内陸地震による栗駒山崩壊斜面の
三次元比抵抗パターン ※山越隆雄 · 一色弘充
石塚忠範 · 内田太郎 · 横山 修 · 河戸克志
奥村 稔 · 佐藤敏久

P12 蔵王山南部地域の比抵抗構造 ※長谷英彰
坂中伸也 · 小山崇夫 · 上嶋 誠 · 渡邊篤志
宮川幸治 · 芹澤正人 · 小山 茂 · 山谷祐介

P13 火山性磁場変動抽出のための統計的補正
※笹岡雅宏 · 田口陽介 · 有田 真

P14 3次元密度構造解析によって得られた昭和新年溶岩
ドームの火道構造 ※西山竜一 · 田中宏幸
田中愛幸 · 大久保修平 · 大島弘光 · 前川徳光

P15 カメルーン・ニオス湖における湖水爆発の発生条件:
一次元ブリュームモデルの数値解析 ※小園誠史
大場 武 · 日下部実 · 吉田 裕 · 鈴木雄治郎

P16 衛星リモートセンシングによる東アジア活火山の準
リアルタイム観測: GCOM-C1 SGLI による火山性熱
源識別の可能性 ※金子隆之 · 田 寛之 · 安田 敦
大規模噴火のマグマデータベース: メルト組成と噴
火規模 ※竹内晋吾 · 三浦大助 · 土志田潔

P17 珪長質マグマにおけるマグマ水蒸気爆発発生メカニ
ズムの解明にむけて—高温固体珪酸塩と水の接触実
験— ※広井良美 · 宮本 毅

P18 テフラ堆積物の粒径サイズ分布の高さ変化と初期サ
イズ分布の関係 ※入山 宙 · 寅丸敦志 · 山本哲生

P19 多項目観測による火山灰輸送の解析 ※鬼澤真也
新堀敏基 · 山本哲也

- P21 移流拡散モデルによる降下火山礫予測 ※新堀敏基
高木朗充・橋本明弘・長谷川嘉彦
林 洋介・山本哲也
- P22 簡易型溶岩流計算モデルの温度依存性に関する検討
※石峯康浩
- P23 ユーザーインターフェイスを改良した溶岩流シミュレーションシステムとその防災上の意義
※安田 敦・金子隆之・新堀賢志・藤井敏嗣
- P24 iPhone を使った火山観測ロボット制御システムの開発
※佐伯和人
- P25 日本活火山総覧（第4版）の刊行 ※藤原善明
舟崎 淳・菅野智之・松森敏幸・坂井孝行
吉田友香・山里 平・千葉達朗・廣谷志穂
荒井健一・佐々木寿
- P26 火山地質情報データベースの構築とその応用
※鳥井真之・西園幸久・稲倉寛仁・鶴田直之
高橋伸弥・奥野 充
福岡国際火山噴火史情報研究所メンバー
- P27 雌阿寒岳火山防災ガイドブック ※宇井忠英
渡邊晶子・広田達郎・雌阿寒岳火山防災会議協議会
- P28 北海道白滝、十勝石沢黒曜石溶岩に見られる結晶質組織（spherulite, lithophysae）の解析 ～珪長質溶岩噴出過程の解明に向けて～ ※佐野恭平・寅丸敦志
和田恵治
- P29 雌阿寒岳、中マチネシリ火砕噴火期 I における噴火推移とマグマ供給系 ※安齋圭亮・和田恵治
- P30 北海道駒ヶ岳火山、側火山の活動年代 ※吉本充宏
今 浩哉
- P31 岩木火山、最新期噴出物の斑晶鉱物化学組成分布 ※宮川雅道・佐々木実
- P32 十和田大不動、十和田八戸火砕流堆積物の鉱物組成分布 ※瀬川ひめか・佐々木実
- P33 秋田駒ヶ岳火山、主成層火山体東部地域の岩石学的研究 ※小畑大樹・藤縄明彦
- P34 岩手県高倉火山列、丸森火山の地質とマグマ供給系 ※土屋沙亜武・藤縄明彦・長谷川健
- P35 栗駒地熱地域、鮮新世～中期更新世火砕流堆積物とカルデラ埋積火砕堆積物との対比 ※葛巻貴大
藤縄明彦・大場 司
- P36 栗駒山剣岳付近の火砕堆積物の層序と放射性炭素年代 ※土井宣夫
- P37 宮城県鳴子火山起源の火砕流堆積物の岩石学的検討 ※伊藤なつみ・藤縄明彦・長谷川健
- P38 蔵王火山・五色岳の過去約 800 年間のマグマ供給系の進化 ※足立辰也・佐藤 光・伴 雅雄
- P39 北側から撮影された 1888 年の磐梯山噴火の写真について ※佐藤 公
- P40 行政災害一ハツ場ダム検証に見る国交省河川部門の不正報告（Ⅱ） ※竹本弘幸
- P41 赤城山と栗駒山の歴史時代の噴火記録 ※及川輝樹
- P42 浅間火山天明噴火堆積物の岩石磁気 ※金丸龍夫
古川邦之
- P43 箱根火山大涌谷水蒸気爆発堆積物層位の見直し
※土屋美穂・萬年一剛・小林 淳・福岡孝昭
- P44 メルト包有物分析・高圧実験から推定する三宅島火山大船戸期のマグマ供給系 ※潮田雅司・高橋栄一
鈴木敏弘・浜田盛久
- P45 伊豆大島沿岸域の高分解能海底地形調査速報
※石塚 治・坂本 泉・滝野義幸・八木雅俊
鬼頭 毅・下司信夫
- P46 大室ダシ火山：NT12-19 航海における調査結果速報
※谷健一郎・宿野浩司・平原由香・正木裕香
Alexander Nichols・石塚 治・Richard Fiske
Katherine Cashman・Philip Leat・Rebecca Carey
Iona McIntosh・尾上 彩佳
- P47 長野県佐久市およびその北方に分布する岩尾層について 高峯山周辺を起源とする岩屑なだれ堆積物である可能性 ※三宅康幸・内堀俊佑・西前健一
藤原幸介
- P48 長野県上田市周辺に分布する上田泥流の給源 ※高橋 康・三宅康幸
- P49 ハヶ岳南方に分布する葦崎岩屑なだれ堆積物の給源の推定 ※小関純一・三宅康幸
- P50 テフラの構成物組成から推定される男体火山の末期活動以降の浅所マグマ供給系の環境 ※石崎泰男
- P51 噴出物の構成物組成及び本質物の全岩組成・密度からみた 男体小川テフラを形成したプリニー式噴火の推移 ※明石勇氣・石崎泰男
- P52 構成物組成及び本質物の全岩組成から見た 男体今市テフラを形成したプリニー式噴火の推移とマグマ供給系 ※森田考美・石崎泰男
- P53 岩石学的にみた立山火山第 2 期噴火の再区分とマグマ供給系（2）：鉱物組成を用いた火砕流堆積物と広域テフラの対比 ※野上景子・石崎泰男
- P54 立山地獄谷で 2010 年 5 月に形成された硫黄溶岩の産状と岩石学的特徴 ※増渕佳子
- P55 大台コールドロンの火道に含まれる海成層ブロック ※佐藤隆春・八尾 昭
- P56 愛媛県西部・卯之町ボーリングコアにおける阿蘇 4 火山灰の岩石学的研究 ※曾山智加・榊原正幸
池田倫治・辻 智大
- P57 三瓶火山の太平山火砕堆積物の形成過程 ※大類 瞬・鈴木桂子
- P58 島根県邑智郡川本町に分布するミネット I 地質と岩石学的特徴 ※小井戸一浩・永尾隆志
堀川義之・永島真理子
- P59 山口県下関市角島に分布する中新世玄武岩類の地質と岩石 ※東山陽次・永尾隆志・永島真理子
- P60 山口県萩市見島の火山活動史と岩石学的特徴 ※寺岡康一郎・永尾隆志
- P61 阿蘇-4 火砕流噴火直前に流出した高遊原溶岩の岩石学的特徴 ※黒川 聖・長谷中利昭・森 康
- P62 中部九州東部地域の火山区分について ※星住英夫
松本哲一・中野 俊

- P63 九重火山群・大船山火山の噴火史と岩石
※川辺禎久・星住英夫
- P64 大分県国東半島両子山火山の K-Ar 年代
※松本哲一・星住英夫・廣田明成
- P65 大分県森地域に分布する第四紀火山岩の K-Ar 年代
※廣田明成・星住英夫・松本哲一
- P66 始良カルデラ、高野ベースサージと新島火砕流堆積物の関係
※西村光史・小林哲夫
- P67 薩摩半島南部大野岳火山の活動時期について (2)
※稲倉寛仁・三好雅也・角野浩史
成尾英仁・小林哲夫
- P68 マリアナ弧、未分化玄武岩の鉱物化学組成：島弧横断方向変化
※宿野浩司・田村芳彦・石塚 治
R.J. Stern・布川章子・Alexander Nichols・川畑 博
- P69 アラマガン火山 (マリアナ弧) の岩石学的研究
※佐藤智紀・田村芳彦・川畑 博・宿野浩司
Alex Nichols・石塚 治
- P70 スラブからの流体と背弧域におけるマントル融解：韓国第四紀 Chugaryeong 火山からの地球化学的制約
※柵山徹也・長岡信治・木村純一
平原由香・高橋俊郎・仙田量子・常 青
宮崎 隆・板谷徹丸・小澤一仁
- P71 インドネシア、テンガーカルデラ火山における巨大な火山体の形成時期
※土志田潔・竹内晋吾
高田 亮・Anjar Heriwaseso・Rosgandika Mulyana
Asep Nursurim
- P72 霧島火山群周辺の表層電気伝導度分布
※鍵山恒臣
吉川 慎・宇津木充・大沢信二
三島壮智・井上寛之
- P73 2011 年 1 月 26 日新燃岳噴火に先行して観測された傾斜変動について
※加藤幸司・藤原善明
- P74 霧島火山周辺領域の起震応力軸分布の時間空間的な特徴
※八木原寛・平野舟一郎・後藤和彦
中尾 茂・宮町宏樹・松本 聡
- P75 霧島火山群新燃岳 2011 年 2 月 1 日ブルカノ式噴火における弾道放出物とその噴出条件
※前野 深
中田節也・長井雅史・小園誠史
- P76 霧島新燃岳 2011 年噴火、火口溶岩のドレインバックの可能性評価：安山岩質噴出物の岩石学的性質から
※佐藤博明・鈴木桂子・佐藤鋭一・佐野恭平
和田恵治・井村隆介
- P77 火山灰軌跡モデル PUFF のシュミレーション結果における噴火条件、縦方向拡散率および風データ空間解像度の影響：霧島 2011 年噴火での例
※清杉孝司
- P78 What can ash-leachate data tell us about eruptive activity and degassing of subduction-zone volcanoes? Examples of Sakurajima and Shinmoedake (Kirishima) volcanoes, Japan
※Nicolas VINET・Hiroshi Shinohara
- P79 霧島火山新燃岳 2011 年噴火における噴気放熱率・放水率の時間変化
※寺田暁彦・福井敬一
- P80 新燃岳 2011 年噴火の軽石層に含まれる緻密な噴出物の成因
※吉瀬 毅・寅丸敦志
- P81 新燃岳享保噴火に伴う火砕流の分布及び産状
※筒井正明・小林哲夫
- P82 霧島山万膳及び夷守台火山観測施設の観測井岩石コア試料の K-Ar 年代
※長井雅史・中田節也
小林哲夫・小園誠史・藤田英輔
武尾 実・鶴川元雄
- P83 MT 連続観測による桜島火山の 3 次元比抵抗構造とその時間変化 (2010 年 2 月～6 月)
※相澤広記
小山崇夫・長谷英彰・上嶋 誠
- P84 桜島火山の三次元浅部比抵抗構造
※神田 径
小川康雄・高倉伸一・小山崇夫・橋本武志
小森省吾・園田忠臣・佐藤 泉
井上直人・宇津木充
- P85 桜島火山におけるくり返し空中磁気観測 (2007-2011 年)
※宇津木充・神田 径・橋本武志
井上直人・小森省吾・井上寛之・井口正人
- P86 X-band SAR 衛星・COSMO-SkyMed によって検出された、桜島南岳火口の変化
※宮城洋介・小澤 拓
島田政信
- P87 桜島火山の南岳爆発期における火山性震動を用いた火山灰放出量の見積り
※井口正人
- P88 霧島空振観測網でとらえた桜島の空振とその時間変化～大気構造と地形の影響評価～
ラカンナ・ジョルジオ・※市原美恵・岩國真紀子
武尾 実・井口正人・リペペ・マウリチオ
- P89 桜島における南岳・昭和火口からの二酸化硫黄放出率の分離定量
※風早竜之介・森 俊哉・山本圭吾
- P90 桜島から放出された火山灰の水溶性付着成分と色の時間変化
※宮城磯治・篠原宏志・伊藤順一
- P91 桜島火山・安永噴火 (1779) で生じた火砕流堆積物
※小林哲夫・中川光弘・吉本充宏
松本亜希子・奥野 充・宮縁友夫
- P92 桜島火山のマグマの地球化学及び記載岩石学的研究
※柴田知之・鈴木 淳・芳川雅子・小林哲夫
味喜大介・竹村恵二